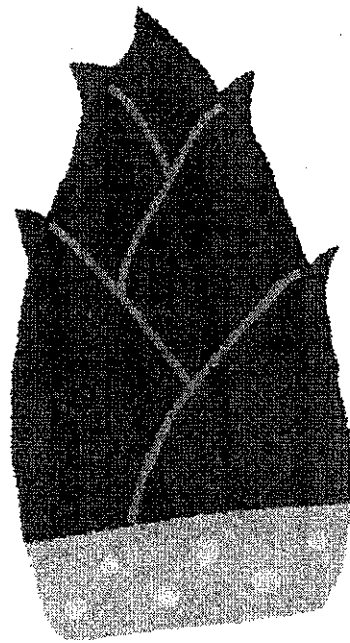




なかしん

景況レポート



2022年 春
中兵庫信用金庫

No.149

経営企画部



第 149 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2022 年 3 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2022 年 3 月を調査時点とする 2021 年度第 4 四半期(2022 年 1 月～3 月)実績(3 月は予想)、及び 2022 年度第 1 四半期(2022 年 4 月～6 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	2022 年 3 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	430 先
有効回答数	425 先 (回答率 98.8%)
その他	この調査における景気判断の基準として、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	108	107
卸売業	37	37
小売業	106	105
サービス業	69	68
建設業	77	77
不動産業	33	31
合計	430	425

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

景気の状態について

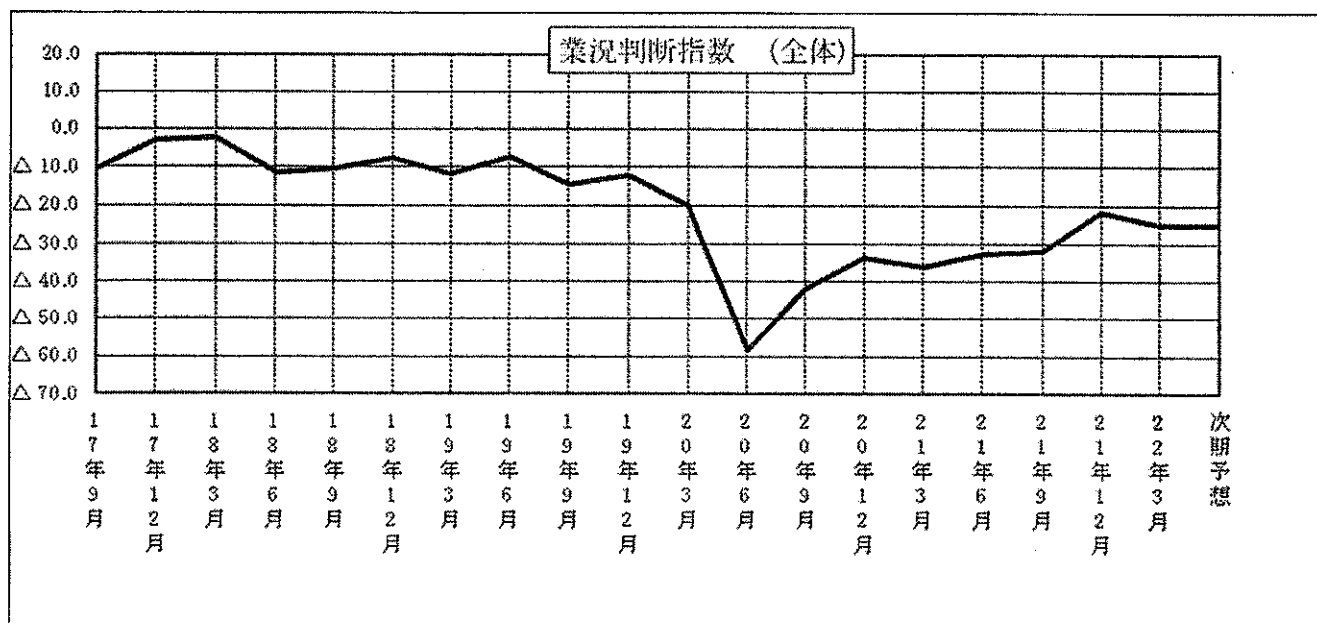
1. 総合的景況判断

業況の推移

調査時点	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2021年	1～3月	6.8	50.3	42.9	△ 36.1
2021年	4～6月	8.1	51.3	40.6	△ 32.5
2021年	7～9月	5.7	56.8	37.5	△ 31.8
2021年	10～12月	11.1	56.0	32.9	△ 21.8
2022年	1～3月	9.4	56.2	34.4	△ 25.0
見通し	4～6月	6.9	61.2	31.9	△ 25.0

業種別業況(2022年1月～3月)

業種	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	次回予想	
						前回調査比	D I 今回調査比
製造業		15.9	55.1	29.0	△ 13.1	7.6	△ 17.8 △ 4.7
非製造業		7.3	56.4	36.3	△ 29.0	△ 6.9	△ 27.5 1.5
(卸売業)		8.1	51.4	40.5	△ 32.4	0.0	△ 38.9 △ 6.5
(小売業)		7.7	44.2	48.1	△ 40.4	△ 8.0	△ 36.6 3.8
(サービス業)		2.9	57.4	39.7	△ 36.8	△ 8.8	△ 27.9 8.9
(建設業)		7.8	70.1	22.1	△ 14.3	△ 6.4	△ 19.5 △ 5.2
(不動産業)		12.9	67.7	19.4	△ 6.5	△ 9.8	△ 3.2 3.3
全体		9.4	56.2	34.4	△ 25.0	△ 3.2	△ 25.0 0.0



○今 期

今期（2022年1月～3月期）の景況をみると、業況DIは前回調査比で3.2ポイント減少の△25.0と悪化した。悪化した要因として、オミクロン株の感染拡大や燃料価格の上昇が要因の一つと推測される。

業種別でみると、製造業で7.6ポイント増加し、卸売業は変わらず、小売業で8.0ポイント、サービス業で8.8ポイント、建設業で6.4ポイント、不動産業で9.8ポイント減少した。

○次期予想

次期予想について、業況DIは今回調査比で変わらず△25.0の見通しである。見通しの要因として、オミクロン株による第6波もピークを越え、経済活動の回復が期待されるものの、ロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクが高まり、燃料や輸入資材・食品等への価格高騰の先行きが見通せないことが要因の一つと推測される。

業種別でみると、小売業で3.8ポイント、サービス業で8.9ポイント、不動産業で3.3ポイント増加し、製造業で4.7ポイント、卸売業で6.5ポイント、建設業で5.2ポイント減少する見通しである。

業種別業況判断

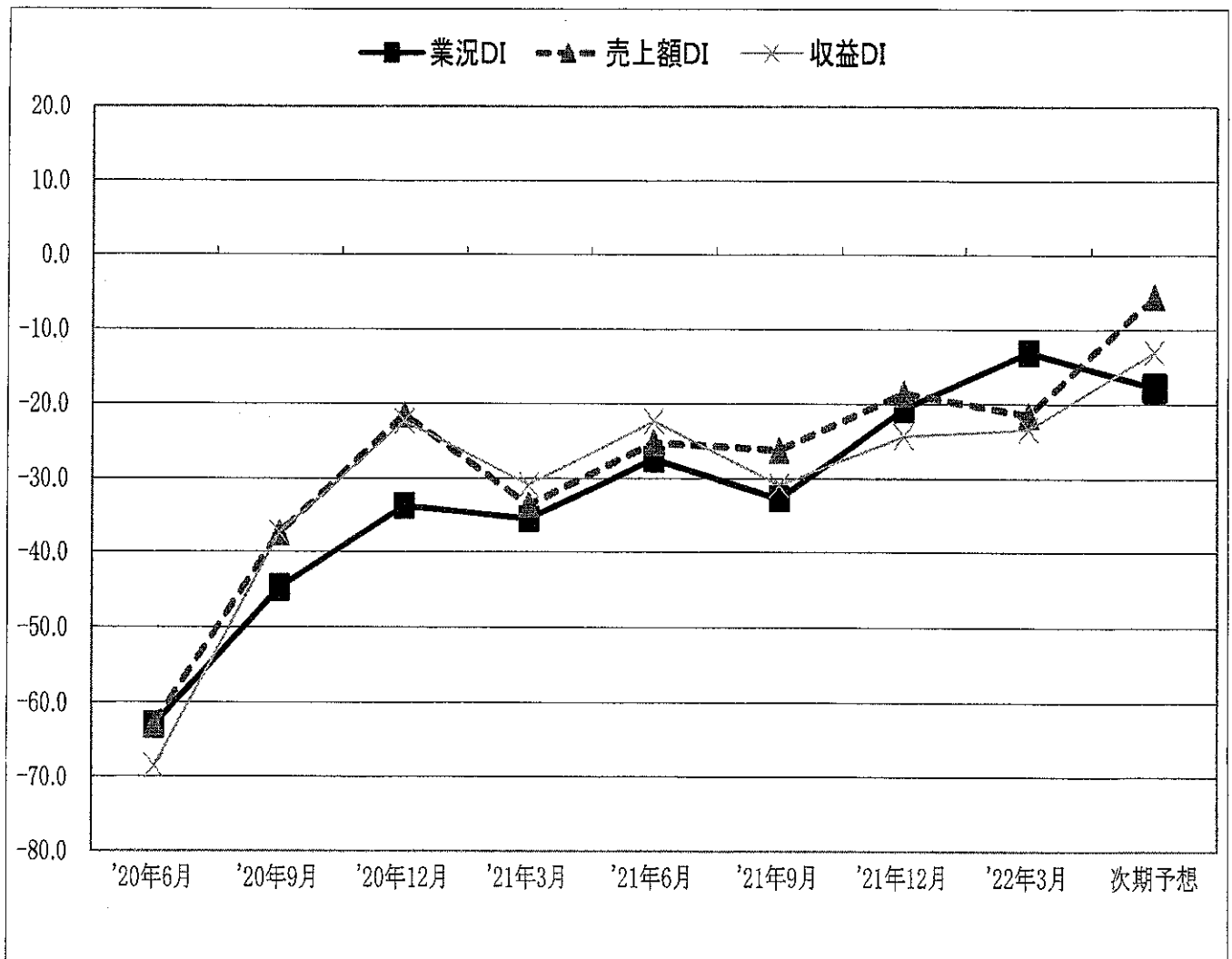
① 製造業

業況DIは前回調査より7.6ポイント増加の△13.1と改善、売上額DIは2.9ポイント減少の△21.5と悪化、収益DIは0.9ポイント増加の△23.4と改善した。

次期予想では、業況DIは4.7ポイント減少の△17.8と悪化、売上額DIは15.9ポイント増加の△5.6、収益DIは10.3ポイント増加の△13.1と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年6月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△63.0	△44.8	△33.7	△35.5	△27.4	△32.7	△20.7	△13.1	7.6	△17.8	△4.7
売上額DI	△62.9	△37.4	△21.5	△33.6	△25.2	△26.2	△18.6	△21.5	△2.9	△5.6	15.9
収益DI	△68.5	△37.4	△22.4	△30.9	△22.4	△30.9	△24.3	△23.4	0.9	△13.1	10.3



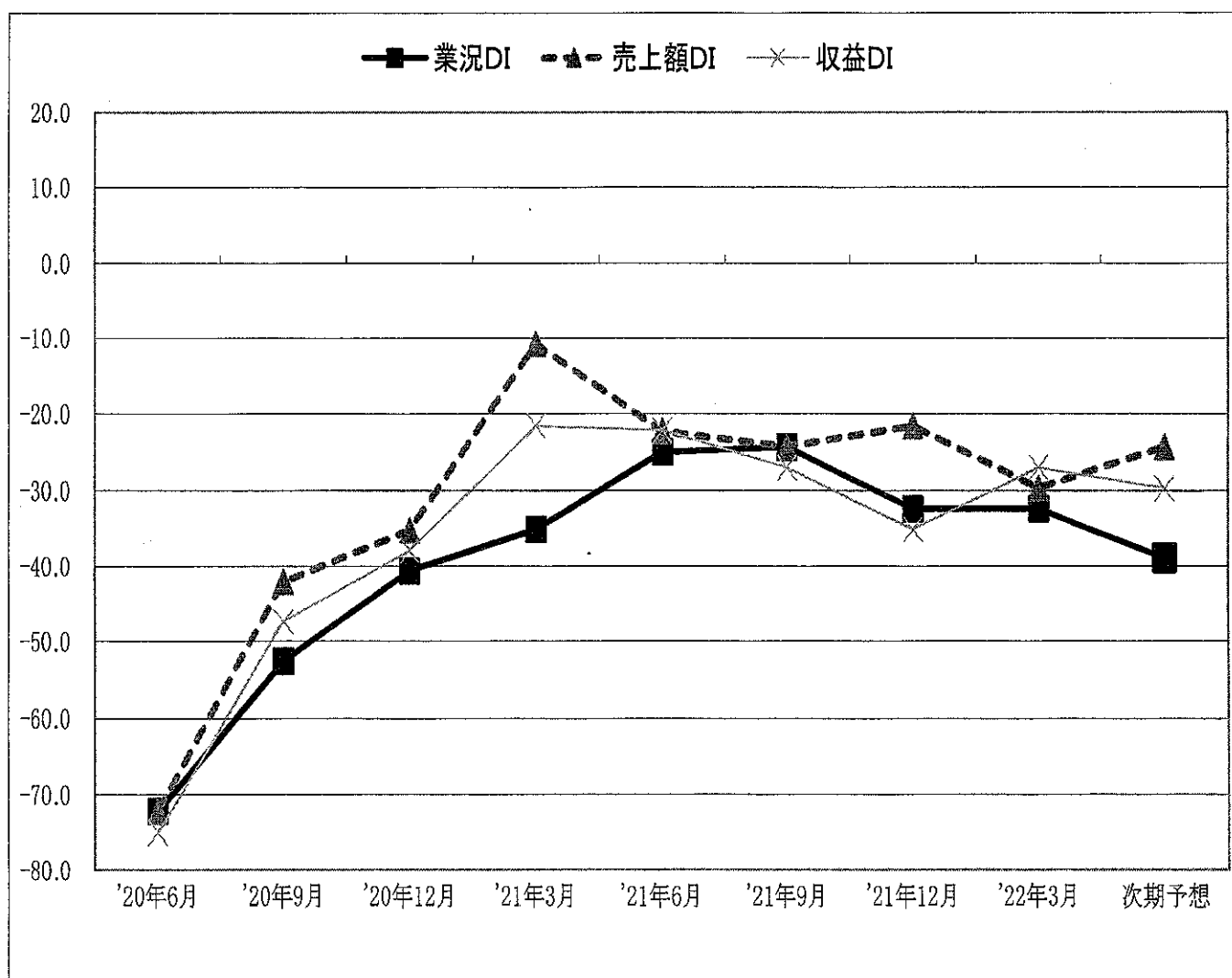
② 卸売業

業況DIは前回調査より変わらず△32.4、売上額DIは8.1 ㊦減少の△29.7 と悪化、収益DIは8.1 ㊦増加の△27.0 と改善した。

次期予想では、業況DIは6.5 ㊦減少の△38.9 と悪化、売上額DIは5.4 ㊦増加の△24.3 と改善、収益DIは2.7 ㊦減少の△29.7 と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年6月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
	業況DI	△ 72.2	△ 52.6	△ 40.6	△ 35.1	△ 25.0	△ 24.3	△ 32.4	△ 32.4	0.0	△ 38.9
売上額DI	△ 72.2	△ 42.1	△ 35.2	△ 10.8	△ 22.3	△ 24.3	△ 21.6	△ 29.7	△ 8.1	△ 24.3	5.4
収益DI	△ 75.0	△ 47.4	△ 37.9	△ 21.6	△ 22.2	△ 27.0	△ 35.1	△ 27.0	8.1	△ 29.7	△ 2.7



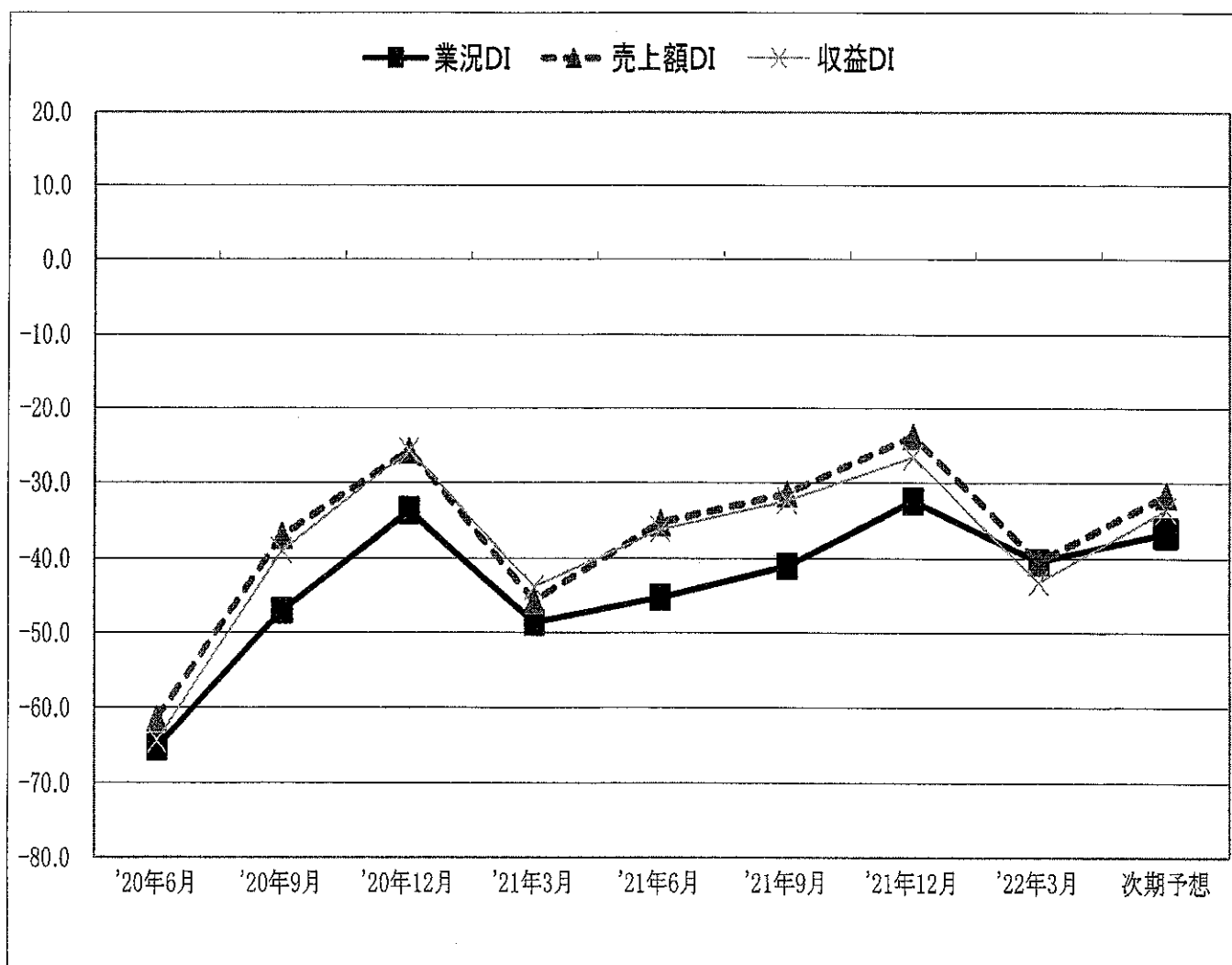
③ 小売業

業況DIは前回調査より8.0ポイント減少の△40.4、売上額DIは16.6ポイント減少の△40.4、収益DIは16.6ポイント減少の△43.2と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは3.8ポイント増加の△36.6、売上額DIは8.7ポイント増加の△31.7、収益DIは9.6ポイント増加の△33.6と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年6月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	次期予想		
									前回調査比	今回調査比	
業況DI	△ 65.3	△ 47.0	△ 33.7	△ 48.6	△ 45.2	△ 41.0	△ 32.4	△ 40.4	△ 8.0	△ 36.6	3.8
売上額DI	△ 61.5	△ 37.0	△ 25.8	△ 45.7	△ 35.3	△ 31.5	△ 23.8	△ 40.4	△ 16.6	△ 31.7	8.7
収益DI	△ 64.4	△ 39.0	△ 25.8	△ 43.8	△ 36.2	△ 32.4	△ 26.6	△ 43.2	△ 16.6	△ 33.6	9.6



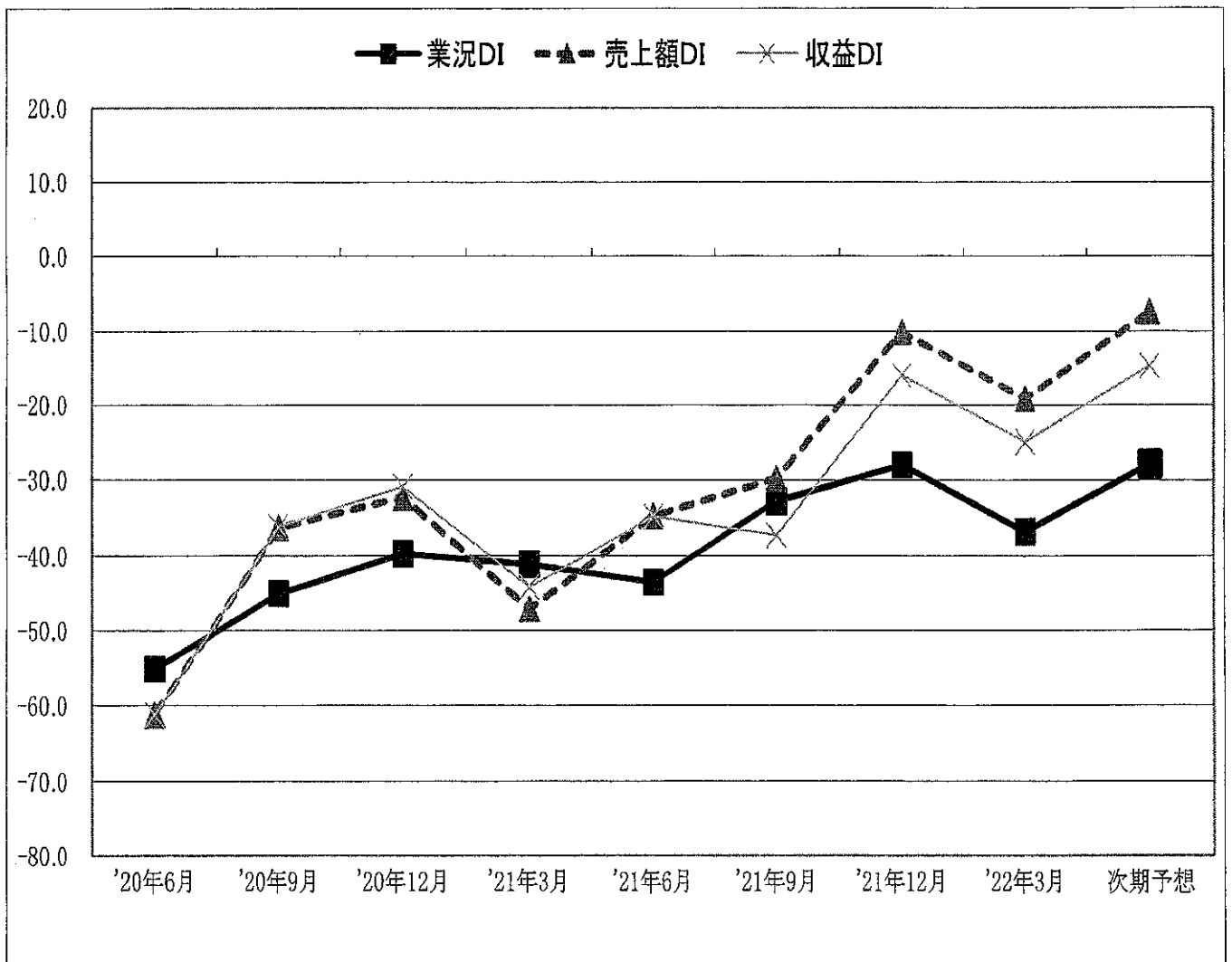
④ サービス業

業況DIは前回調査より8.8ポイント減少の△36.8、売上額DIは9.1ポイント減少の△19.2、収益DIは9.0ポイント減少の△25.0と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは8.9ポイント増加の△27.9、売上額DIは11.8ポイント増加の△7.4、収益DIは10.3ポイント増加の△14.7と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年6月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	次期予想		
									前回調査比	今回調査比	
業況DI	△ 55.2	△ 45.0	△ 39.7	△ 41.1	△ 43.5	△ 32.8	△ 28.0	△ 36.8	△ 8.8	△ 27.9	8.9
売上額DI	△ 61.2	△ 36.3	△ 32.3	△ 47.1	△ 34.8	△ 29.8	△ 10.1	△ 19.2	△ 9.1	△ 7.4	11.8
収益DI	△ 61.2	△ 36.2	△ 30.9	△ 44.1	△ 34.8	△ 37.3	△ 16.0	△ 25.0	△ 9.0	△ 14.7	10.3



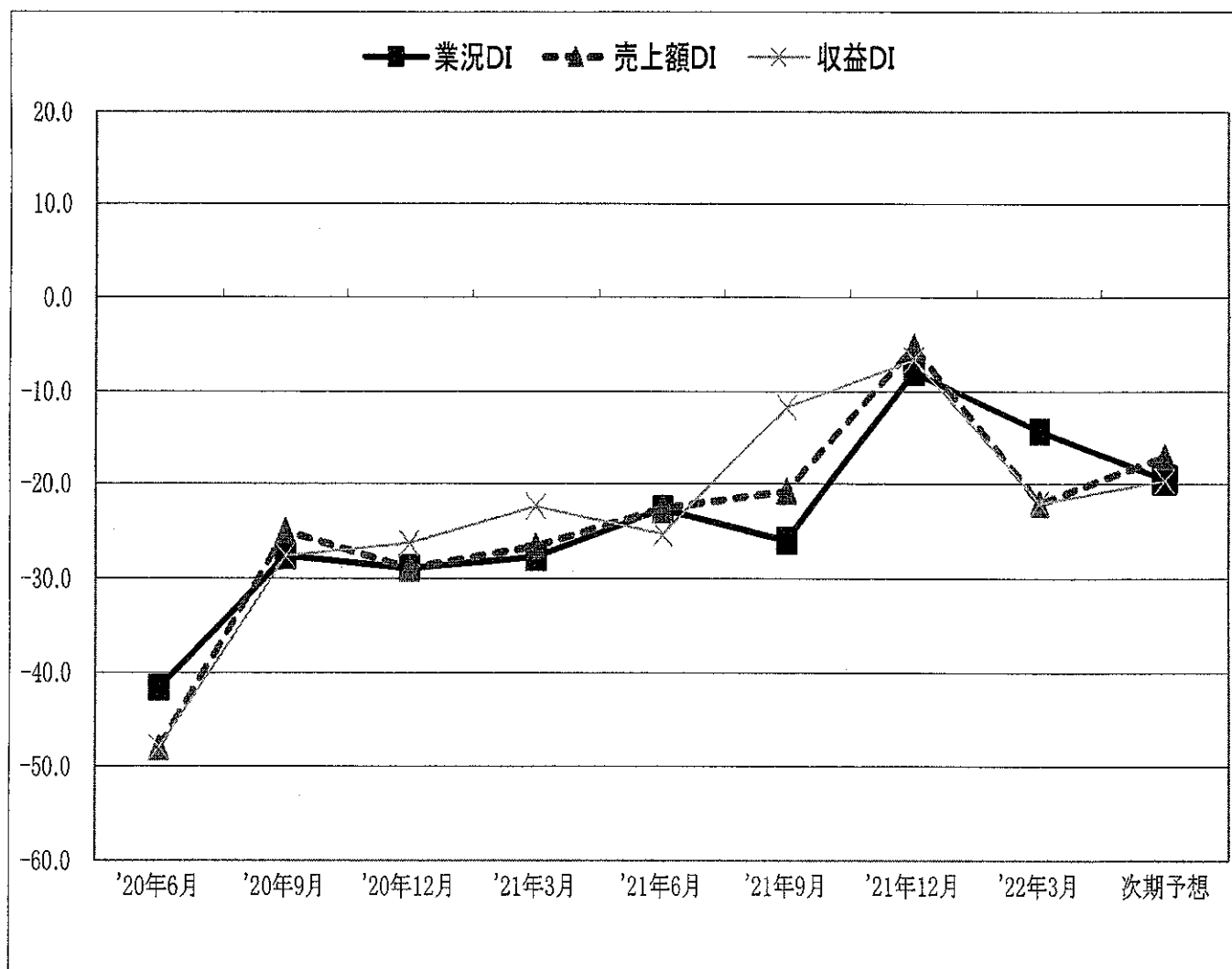
⑤ 建設業

業況DIは前回調査より6.4ポイント減少の△14.3、売上額DIは16.9ポイント減少の△22.1、収益DIは15.5ポイント減少の△22.1と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは5.2ポイント減少の△19.5と悪化、売上額DIは5.0ポイント増加の△17.1、収益DIは2.4ポイント増加の△19.7と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年6月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
										△19.5	
業況DI	△41.6	△27.6	△28.9	△27.7	△22.7	△26.0	△7.9	△14.3	△6.4	△19.5	△5.2
売上額DI	△48.0	△25.0	△28.9	△26.6	△22.6	△20.8	△5.2	△22.1	△16.9	△17.1	5.0
収益DI	△48.0	△27.6	△26.3	△22.4	△25.3	△11.7	△6.6	△22.1	△15.5	△19.7	2.4



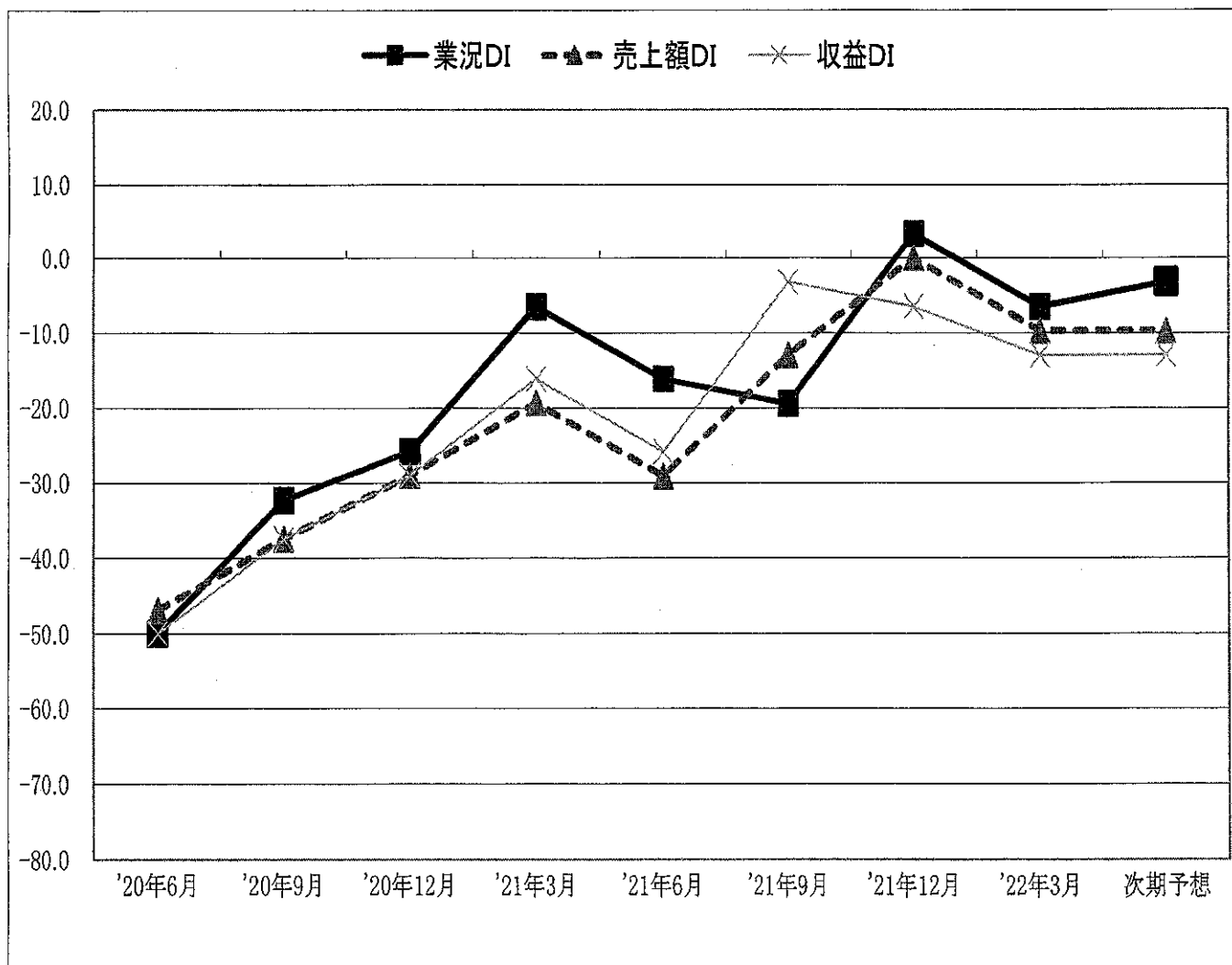
⑥ 不動産業

業況DIは前回調査より9.8ポイント減少の△6.5、売上額DIは9.7ポイント減少の△9.7、収益DIは6.4ポイント減少の△12.9と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは3.3ポイント増加の△3.2と改善し、売上額DIは変わらず△9.7、収益DIは変わらず△12.9の見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年6月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	次期予想		
								前回調査比	今回調査比	今回調査比	
業況DI	△ 50.0	△ 32.3	△ 25.8	△ 6.5	△ 16.1	△ 19.4	3.3	△ 6.5	△ 9.8	△ 3.2	3.3
売上額DI	△ 46.9	△ 37.5	△ 29.0	△ 19.3	△ 29.1	△ 12.9	0.0	△ 9.7	△ 9.7	△ 9.7	0.0
収益DI	△ 50.0	△ 37.5	△ 29.0	△ 16.1	△ 25.8	△ 3.2	△ 6.5	△ 12.9	△ 6.4	△ 12.9	0.0



2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が5.0ポイント減少し、「減少した」とする企業が5.8ポイント増加したことから、DIは10.8ポイント減少の△25.8と悪化した。

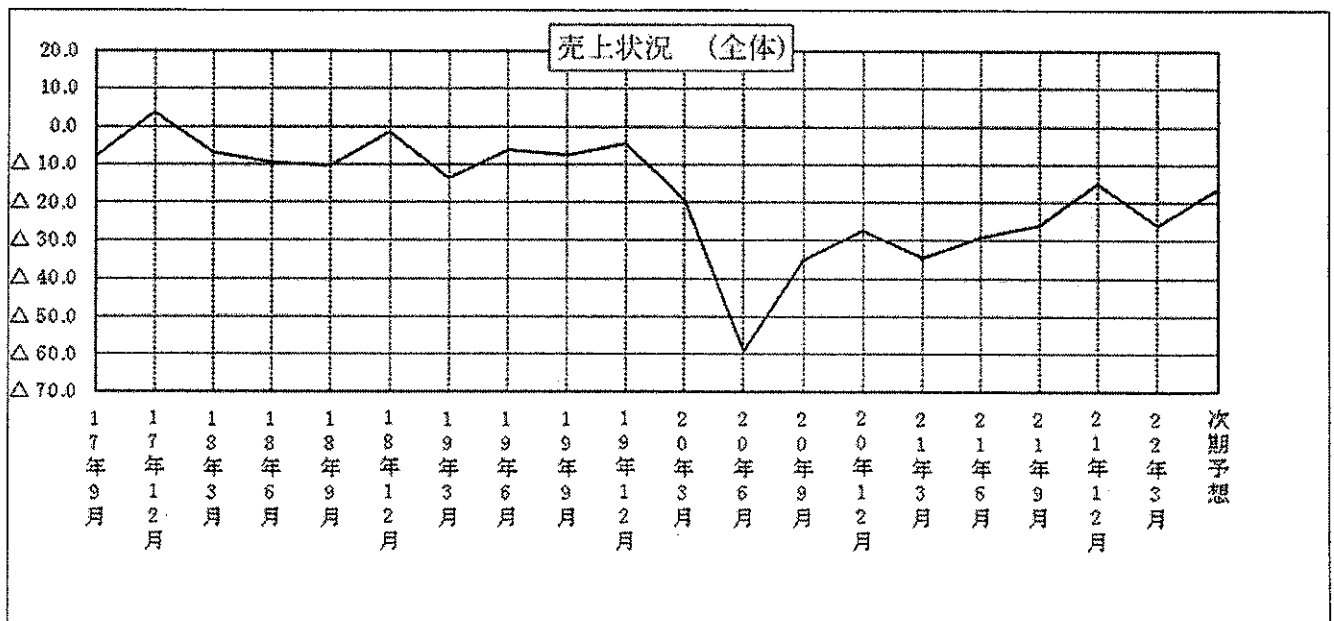
次回予想DIは9.5ポイント増加の△16.3と改善する見通しである。

売上状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	DI (A-C)
2021年	1~3月	10.6	44.2	45.2	△ 34.6
2021年	4~6月	8.5	54.1	37.4	△ 28.9
2021年	7~9月	8.5	57.1	34.4	△ 25.9
2021年	10~12月	15.8	53.4	30.8	△ 15.0
2022年	1~3月	10.8	52.6	36.6	△ 25.8
	前回調査比	△ 5.0	△ 0.8	5.8	△ 10.8
見通し	4~6月	12.5	58.7	28.8	△ 16.3
	今回調査比	1.7	6.1	△ 7.8	9.5

業種別売上状況(2022年1月~3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	DI (A-C)	前回調査 DI	次回予想 DI
製造業		12.1	54.3	33.6	△ 21.5	△ 18.6	△ 5.6
卸売業		2.7	64.9	32.4	△ 29.7	△ 21.6	△ 24.3
小売業		9.6	40.4	50.0	△ 40.4	△ 23.8	△ 31.7
サービス業		17.6	45.6	36.8	△ 19.2	△ 10.1	△ 7.4
建設業		6.5	64.9	28.6	△ 22.1	△ 5.2	△ 17.1
不動産業		16.1	58.1	25.8	△ 9.7	0.0	△ 9.7
全体		10.8	52.6	36.6	△ 25.8	△ 15.0	△ 16.3



3. 収益状況

収益状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が 2.6 ㊦減少し、「減少した」とする企業は 5.2 ㊦増加したことから、D I は 7.8 ㊦減少の△27.8 と悪化した。

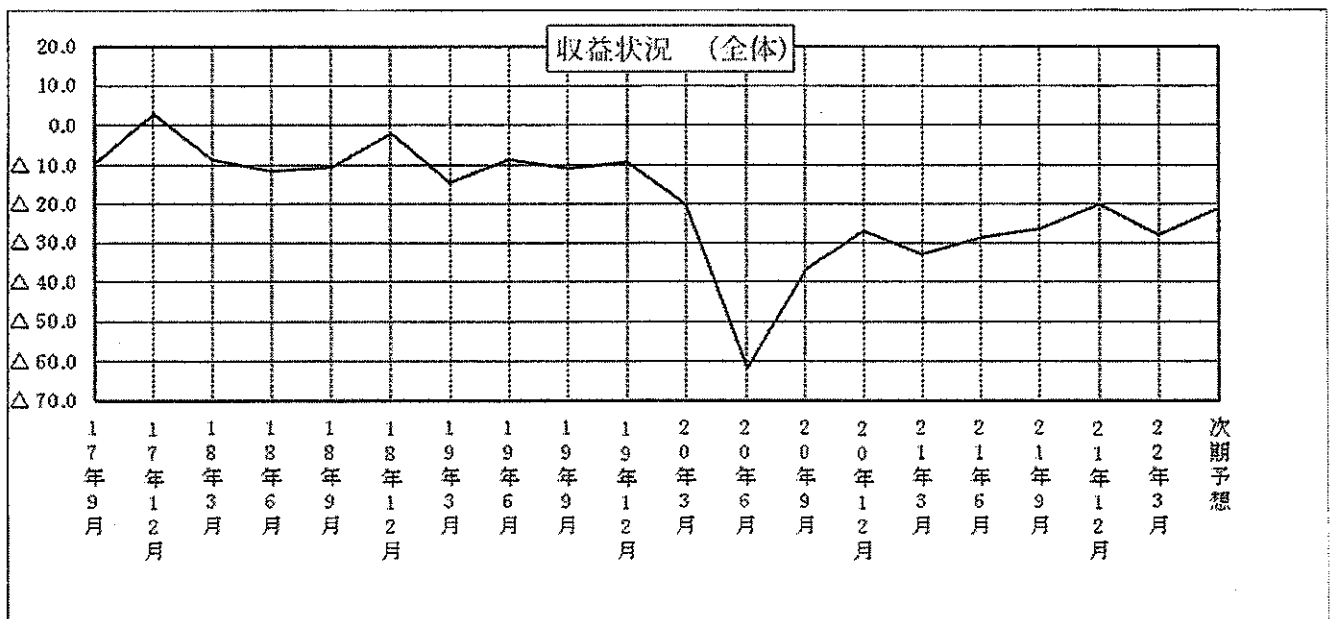
次回予想 D I は 6.8 ㊦増加の△21.0 と改善する見通しである。

収益状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2021年	1～3月	9.7	47.8	42.5	△ 32.8
2021年	4～6月	7.8	55.8	36.4	△ 28.6
2021年	7～9月	8.5	56.6	34.9	△ 26.4
2021年	10～12月	11.8	56.4	31.8	△ 20.0
2022年	1～3月	9.2	53.8	37.0	△ 27.8
	前回調査比	△ 2.6	△ 2.6	5.2	△ 7.8
見通し	4～6月	9.0	61.0	30.0	△ 21.0
	今回調査比	△ 0.2	7.2	△ 7.0	6.8

業種別収益状況(2022年1月～3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		11.2	54.2	34.6	△ 23.4	△ 24.3	△ 13.1
卸売業		2.7	67.6	29.7	△ 27.0	△ 35.1	△ 29.7
小売業		5.8	45.2	49.0	△ 43.2	△ 26.6	△ 33.6
サービス業		13.2	48.6	38.2	△ 25.0	△ 16.0	△ 14.7
建設業		9.1	59.7	31.2	△ 22.1	△ 6.6	△ 19.7
不動産業		12.9	61.3	25.8	△ 12.9	△ 6.5	△ 12.9
全体		9.2	53.8	37.0	△ 27.8	△ 20.0	△ 21.0



4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

○在庫

在庫状況は、前回調査に比べ、「過剰」とする企業が 0.8 ㊦増加したものの、「不足」とする企業 1.2 ㊦増加したことから、D I は 0.4 ㊦減少の△4.0 となった。

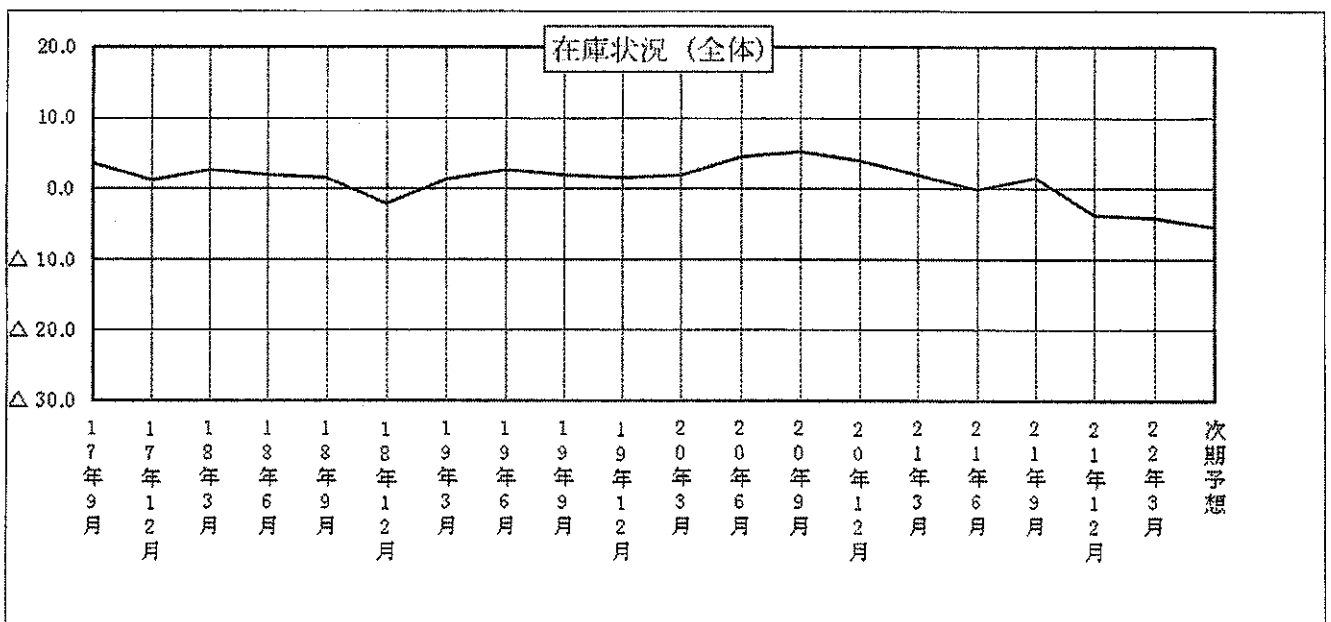
次回予想D I は、1.4 ㊦減少の△5.4 となる見通しである。

在庫状況の推移

調査時点	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2021年	1~3月	7.9	86.2	5.9	2.0
2021年	4~6月	7.7	84.6	7.7	0.0
2021年	7~9月	7.6	86.5	5.9	1.7
2021年	10~12月	6.2	84.0	9.8	△3.6
2022年	1~3月	7.0	82.0	11.0	△4.0
	前回調査比	0.8	△2.0	1.2	△0.4
見通し	4~6月	5.6	83.4	11.0	△5.4
	今回調査比	△1.4	1.4	0.0	△1.4

業種別在庫状況(2022年1月~3月)

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		9.3	83.2	7.5	1.8	△2.8	△3.7
卸売業		5.6	83.3	11.1	△5.5	2.7	△8.3
小売業		8.7	77.8	13.5	△4.8	0.0	△1.9
建設業		3.9	84.4	11.7	△7.8	△6.6	△10.6
不動産業		3.2	83.9	12.9	△9.7	△19.4	△6.5
全体		7.0	82.0	11.0	△4.0	△3.6	△5.4



○販売価格

販売価格は、前回調査に比べ、「上昇した」とする企業が4.3ポイント増加したことから、「下降した」とする企業が0.7ポイント増加したものの、DIは3.6ポイント増加の7.8と改善した。

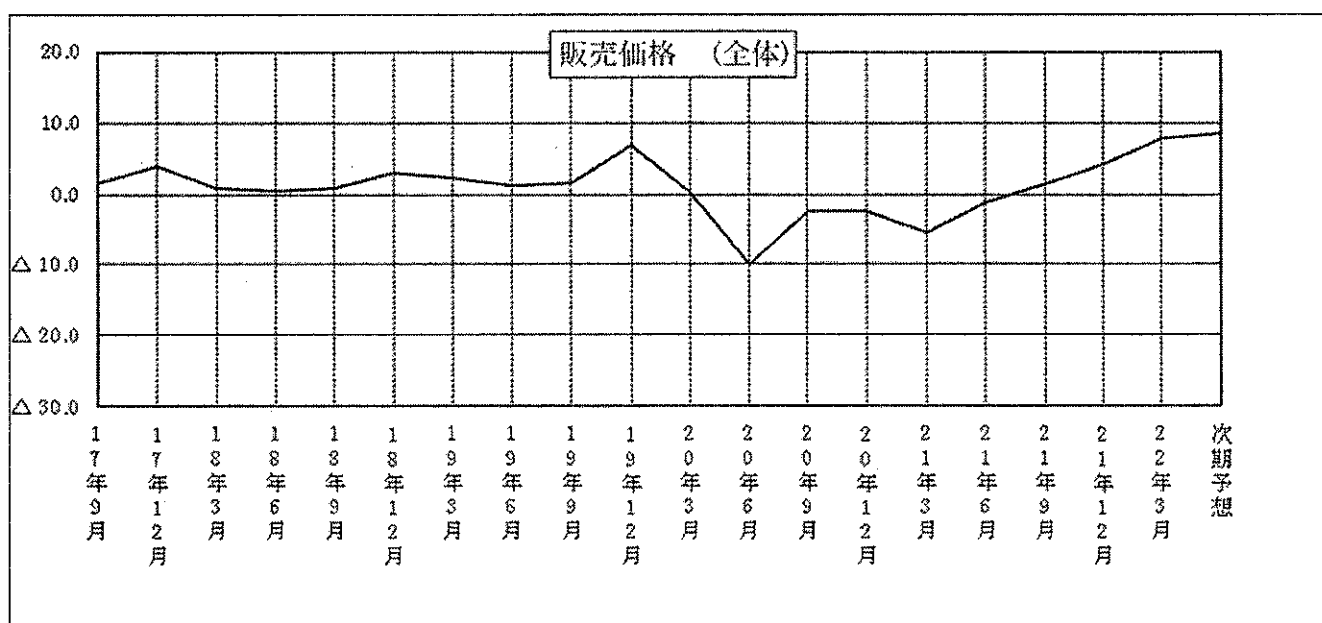
次回予想DIは、0.7ポイント増加の8.5と改善する見通しである。

販売価格の推移

調査時点	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	DI (A-C)
2021年	1～3月	3.3	88.0	8.7	△5.4
2021年	4～6月	6.6	85.8	7.6	△1.0
2021年	7～9月	7.6	86.2	6.2	1.4
2021年	10～12月	10.8	82.6	6.6	4.2
2022年	1～3月	15.1	77.6	7.3	7.8
	前回調査比	4.3	△5.0	0.7	3.6
見通し	4～6月	15.4	77.7	6.9	8.5
	今回調査比	0.3	0.1	△0.4	0.7

業種別販売価格状況(2022年1月～3月)

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	DI (A-C)	前回調査 DI	次回予想 DI
製造業		15.9	83.2	0.9	15.0	12.3	12.3
卸売業		16.7	69.4	13.9	2.8	△10.8	5.6
小売業		19.2	70.2	10.6	8.6	7.6	12.5
サービス業		14.7	83.8	1.5	13.2	4.4	11.7
建設業		13.0	75.3	11.7	1.3	0.0	2.6
不動産業		3.2	83.9	12.9	△9.7	△6.5	△6.5
全体		15.1	77.6	7.3	7.8	4.2	8.5



○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とした企業が1.2ポイント減少し、「苦しい」とした企業が1.0ポイント増加したことから、D Iは2.2ポイント減少の△17.0と悪化した。

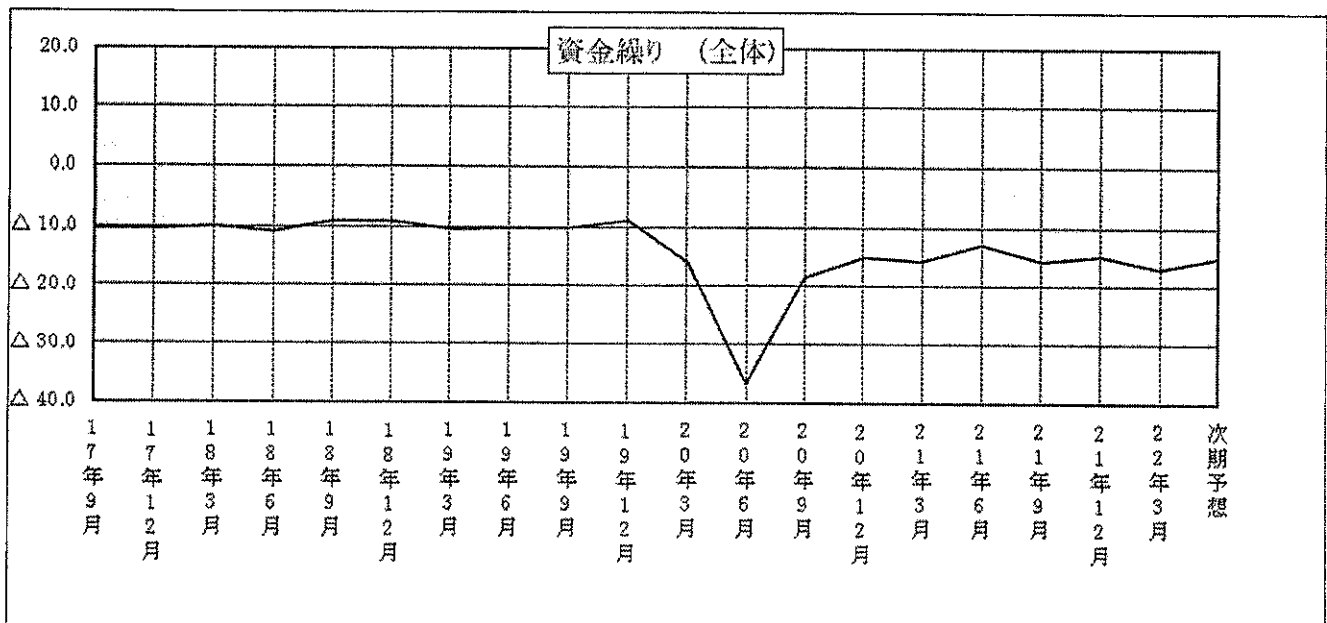
次回予想D Iは、1.9ポイント増加の△15.1と改善する見通しである。

資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
2021年	1～3月	5.9	72.6	21.5	△15.6
2021年	4～6月	4.5	78.2	17.3	△12.8
2021年	7～9月	2.8	78.8	18.4	△15.6
2021年	10～12月	5.2	74.8	20.0	△14.8
2022年	1～3月	4.0	75.0	21.0	△17.0
	前回調査比	△1.2	0.2	1.0	△2.2
見通し	4～6月	4.3	76.3	19.4	△15.1
	今回調査比	0.3	1.3	△1.6	1.9

業種別資金繰り状況(2022年1月～3月)

業種	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		6.5	75.7	17.8	△11.3	△12.2	△5.6
卸売業		2.8	80.5	16.7	△13.9	△13.5	△11.1
小売業		2.9	64.4	32.7	△29.8	△24.8	△29.8
サービス業		1.5	75.0	23.5	△22.0	△14.5	△16.2
建設業		3.9	83.1	13.0	△9.1	△6.6	△10.6
不動産業		6.5	80.6	12.9	△6.4	△12.9	△12.9
全体		4.0	75.0	21.0	△17.0	△14.8	△15.1



5. 雇用面の動き

○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が 0.4 割減少したものの、「減少した」とする企業が 1.8 割減少したことから、D I は 1.4 割増加の $\Delta 2.6$ となった。

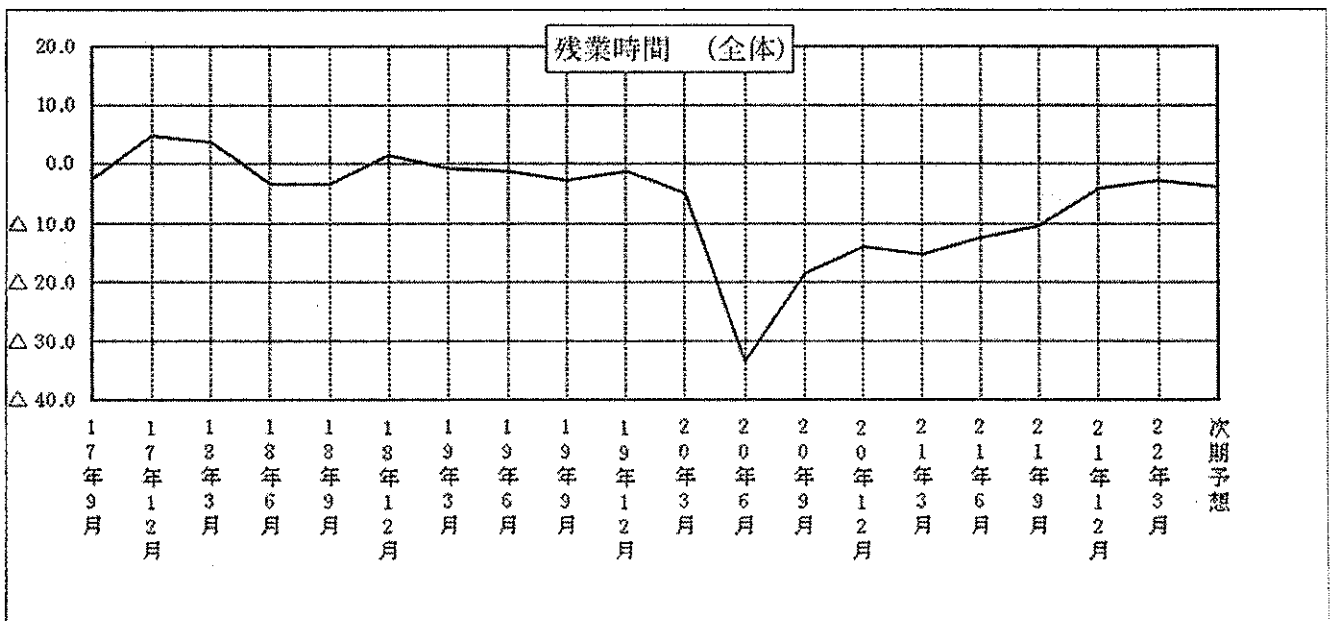
次回予想 D I は、1.2 割減少の $\Delta 3.8$ となる見通しである。

残業時間状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2021年	1~3月	4.3	76.2	19.5	$\Delta 15.2$
2021年	4~6月	3.1	81.5	15.4	$\Delta 12.3$
2021年	7~9月	4.5	80.6	14.9	$\Delta 10.4$
2021年	10~12月	7.5	81.0	11.5	$\Delta 4.0$
2022年	1~3月	7.1	83.2	9.7	$\Delta 2.6$
	前回調査比	$\Delta 0.4$	2.2	$\Delta 1.8$	1.4
見通し	4~6月	3.5	89.2	7.3	$\Delta 3.8$
	今回調査比	$\Delta 3.6$	6.0	$\Delta 2.4$	$\Delta 1.2$

業種別残業時間状況(2022年1月~3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		11.2	78.5	10.3	0.9	$\Delta 9.4$	$\Delta 1.9$
卸売業		0.0	83.8	16.2	$\Delta 16.2$	$\Delta 8.1$	$\Delta 10.8$
小売業		4.8	83.7	11.5	$\Delta 6.7$	$\Delta 6.6$	$\Delta 8.6$
サービス業		8.8	79.4	11.8	$\Delta 3.0$	0.0	$\Delta 3.0$
建設業		7.9	88.2	3.9	4.0	1.4	0.0
不動産業		3.2	93.6	3.2	0.0	6.5	3.2
全体		7.1	83.2	9.7	$\Delta 2.6$	$\Delta 4.0$	$\Delta 3.8$



○人 手

人手の状況は、前回調査と比べ、「過剰」とする企業は 2.4 ㊦増加し、「不足」とした企業が 3.5 ㊦減少したことから、D I は全体で 5.9 ㊦増加の△10.8 となった。

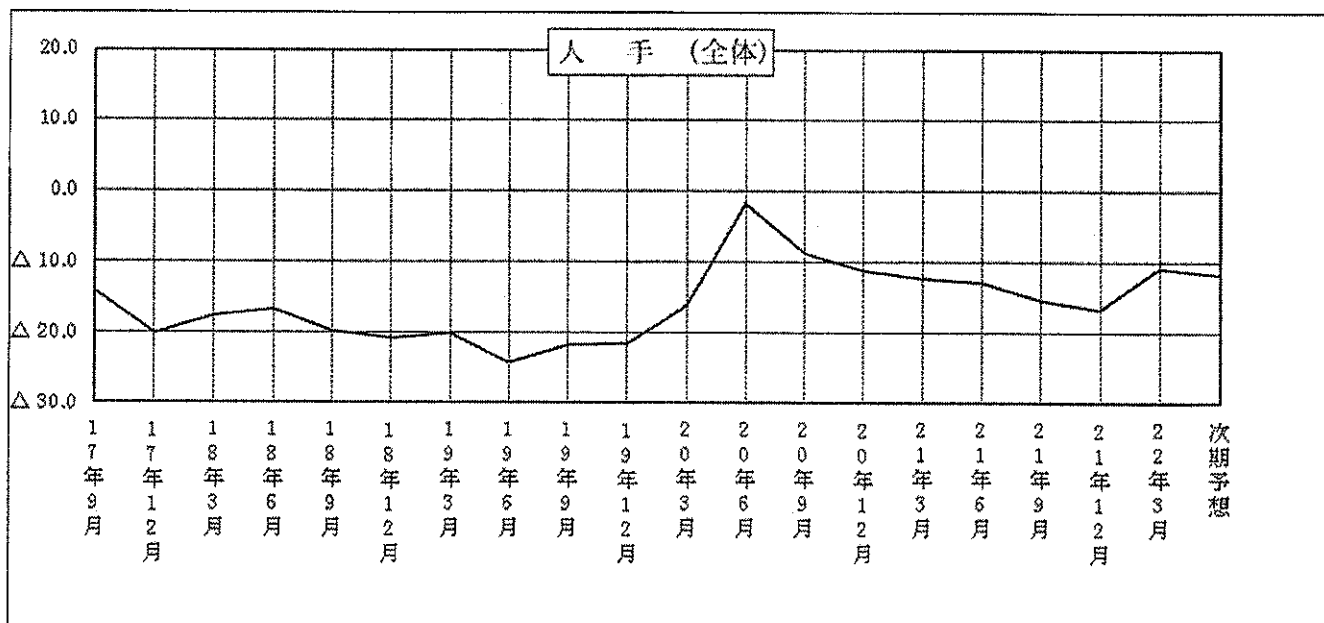
次回予想D I は、全体で 0.8 ㊦減少の△11.6 となる見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2021年	1~3月	6.4	74.9	18.7	△ 12.3
2021年	4~6月	4.0	79.2	16.8	△ 12.8
2021年	7~9月	3.3	78.0	18.7	△ 15.4
2021年	10~12月	1.4	80.5	18.1	△ 16.7
2022年	1~3月	3.8	81.6	14.6	△ 10.8
	前回調査比	2.4	1.1	△ 3.5	5.9
見通し	4~6月	3.5	81.4	15.1	△ 11.6
	今回調査比	△ 0.3	△ 0.2	0.5	△ 0.8

業種別人手状況(2022年1月~3月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		6.5	73.9	19.6	△ 13.1	△ 15.9	△ 15.0
卸 売 業		8.1	89.2	2.7	5.4	△ 16.2	2.7
小 売 業		4.8	84.6	10.6	△ 5.8	△ 13.3	△ 7.7
サ ー ビ ス 業		1.5	79.4	19.1	△ 17.6	△ 21.7	△ 16.2
建 設 業		0.0	80.5	19.5	△ 19.5	△ 21.1	△ 19.7
不 動 産 業		0.0	96.8	3.2	△ 3.2	△ 9.7	0.0
全 体		3.8	81.6	14.6	△ 10.8	△ 16.7	△ 11.6



6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、殆どの業種で「売上の停滞・減少」と「同業者間の競争の激化」が1位、2位を占めたが、建設業で「材料価格の上昇」が1位、製造業で「原材料高」、サービス業で「人手不足」、不動産業で「利幅の縮小」が2位となった。

当面の重点経営施策では、殆どの業種で「経費を節減する」、「販路を広げる」が1位、2位を占めたが、不動産業で「宣伝・広告を強化する」が1位、小売業で「品揃えを改善する」が2位となった。

経営上の問題点

(複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	45.3	原材料高	34.9	同業者間の競争の激化	21.7	人手不足	20.8
卸売業	売上の停滞・減少	43.2	同業者間の競争の激化	37.8	利幅の縮小 仕入先からの値上げ要請	16.2		
小売業	売上の停滞・減少	45.2	同業者間の競争の激化	21.2	大型店との競争の激化 仕入先からの値上げ要請	20.2		
サービス業	売上の停滞・減少	33.8	人手不足	25.0	同業者間の競争の激化	23.5	利幅の縮小	19.1
建設業	材料価格の上昇	40.8	同業者間の競争の激化	35.5	売上の停滞・減少	34.2	人手不足	25.0
不動産業	同業者間の競争の激化	48.4	利幅の縮小	25.8	問題なし	19.4	売上の停滞・減少	16.1

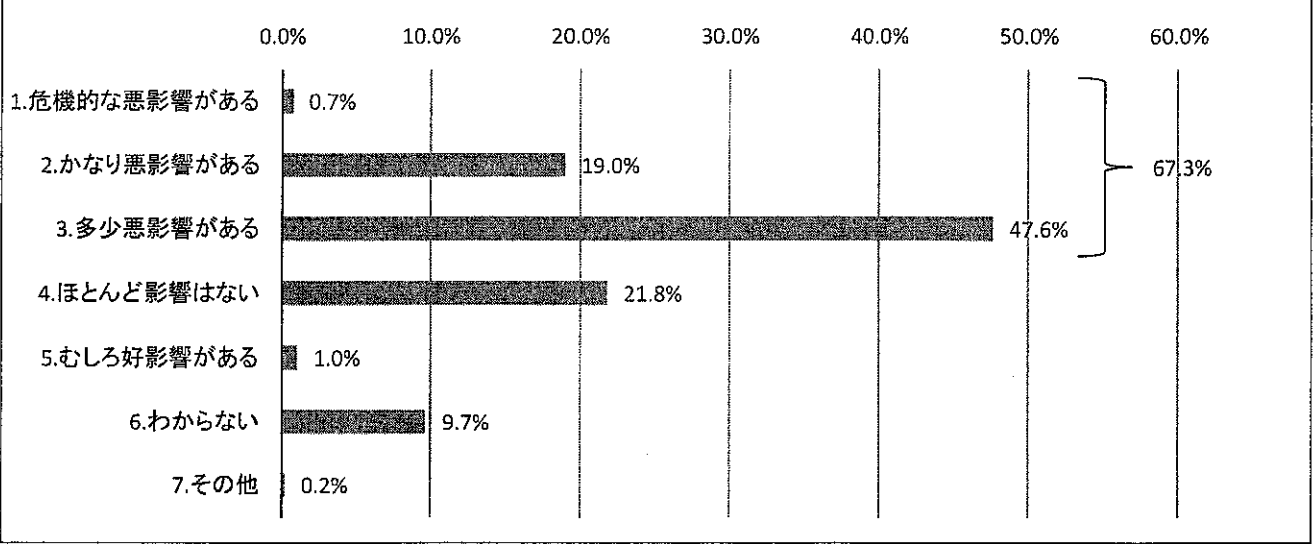
当面の重点経営施策

(複数回答 単位:%)

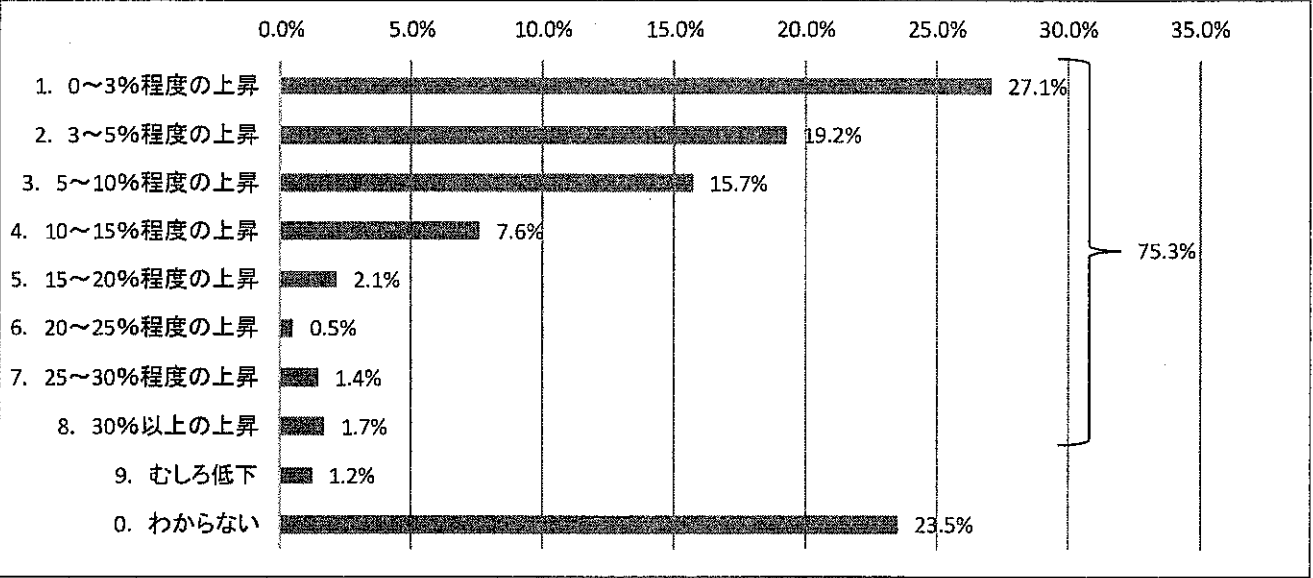
業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	経費を節減する	53.8	販路を広げる	51.9	人材を確保する	19.8	新製品・技術を開発する	17.9
卸売業	販路を広げる	54.1	経費を節減する	51.4	情報力を強化する	18.9	提携先を見つける	13.5
小売業	経費を節減する	50.0	品揃えを改善する	32.7	宣伝・広告を強化する	26.9	特になし	16.3
サービス業	経費を節減する	58.8	販路を広げる	44.1	人材を確保する 強化する	22.1	宣伝・広告を強化する	14.7
建設業	経費を節減する	46.1	販路を広げる	32.9	人材を確保する 技術力を高める	25.0		
不動産業	宣伝・広告を強化する	45.2	販路を広げる	41.9	経費を節減する	32.3	情報力を強化する	29.0

「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

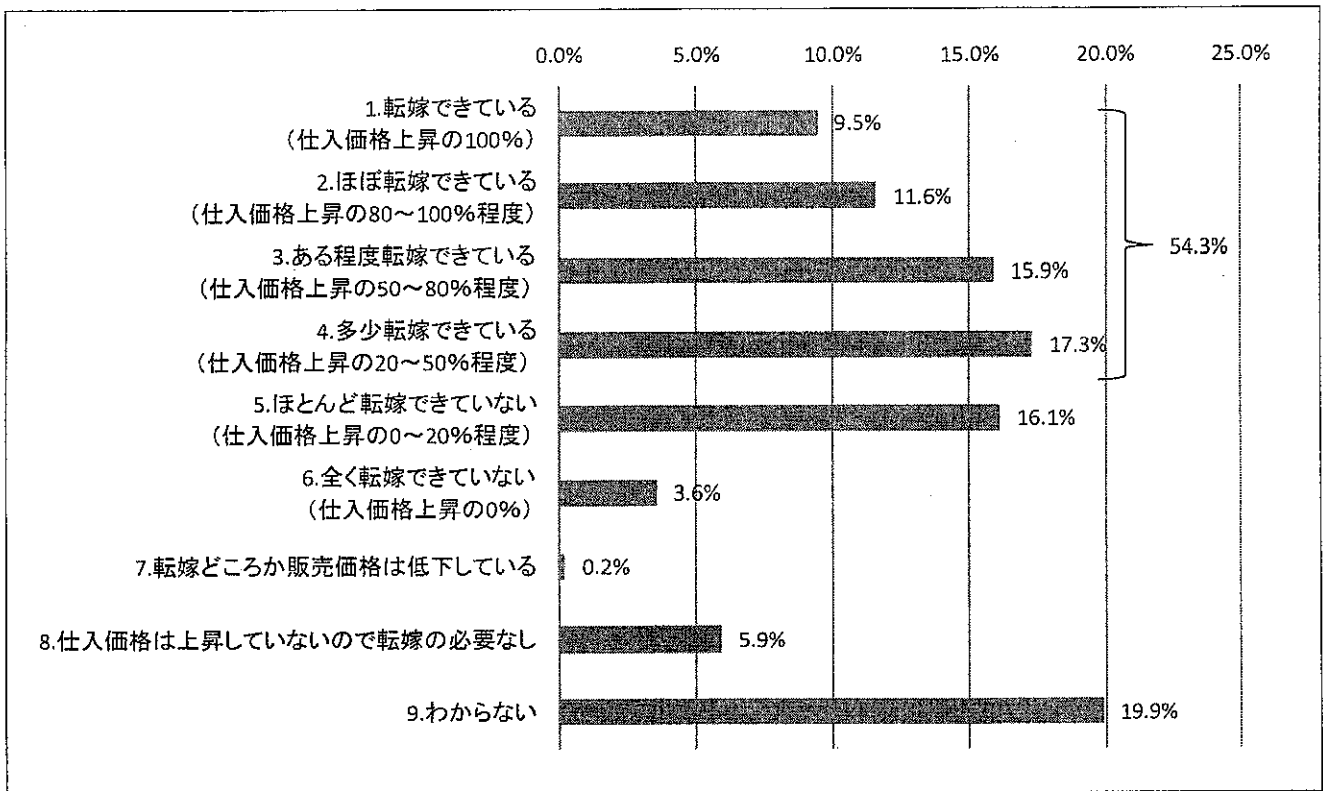
問1. 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。



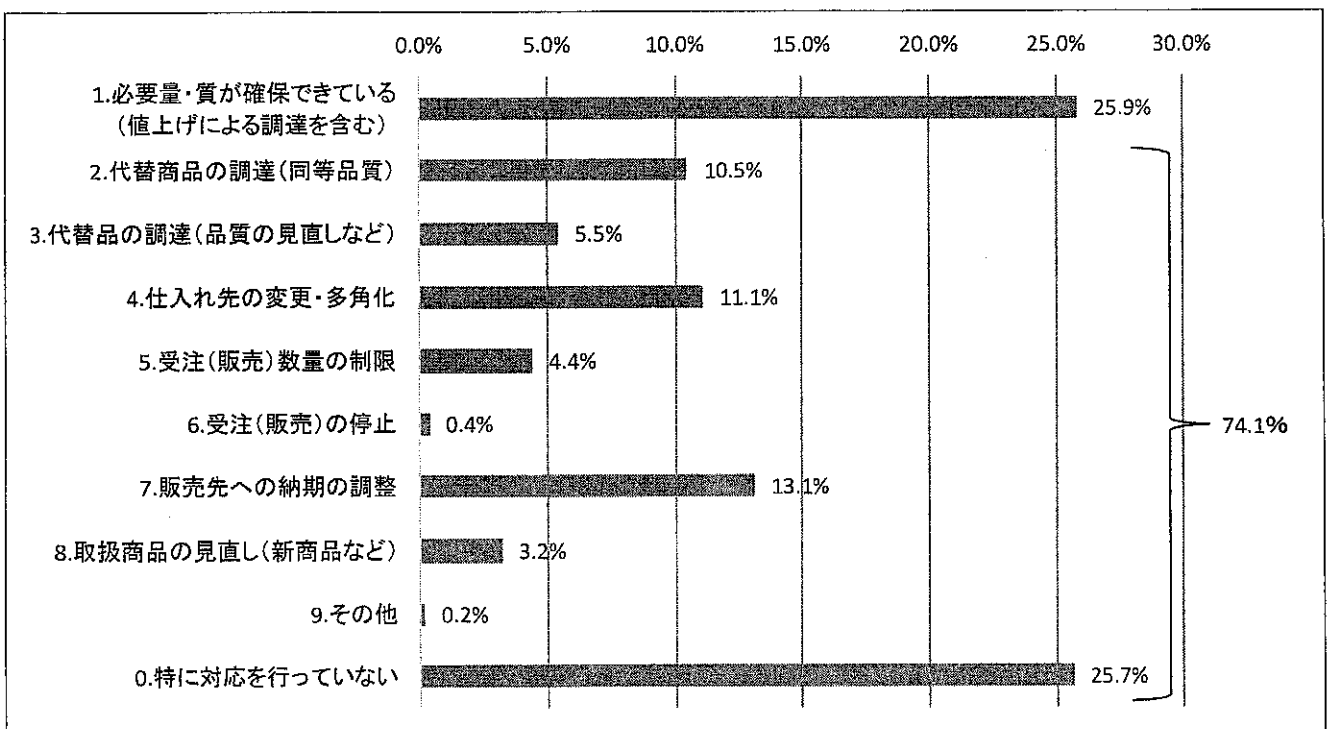
問2. 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1～0の中から1つ選んでお答えください。



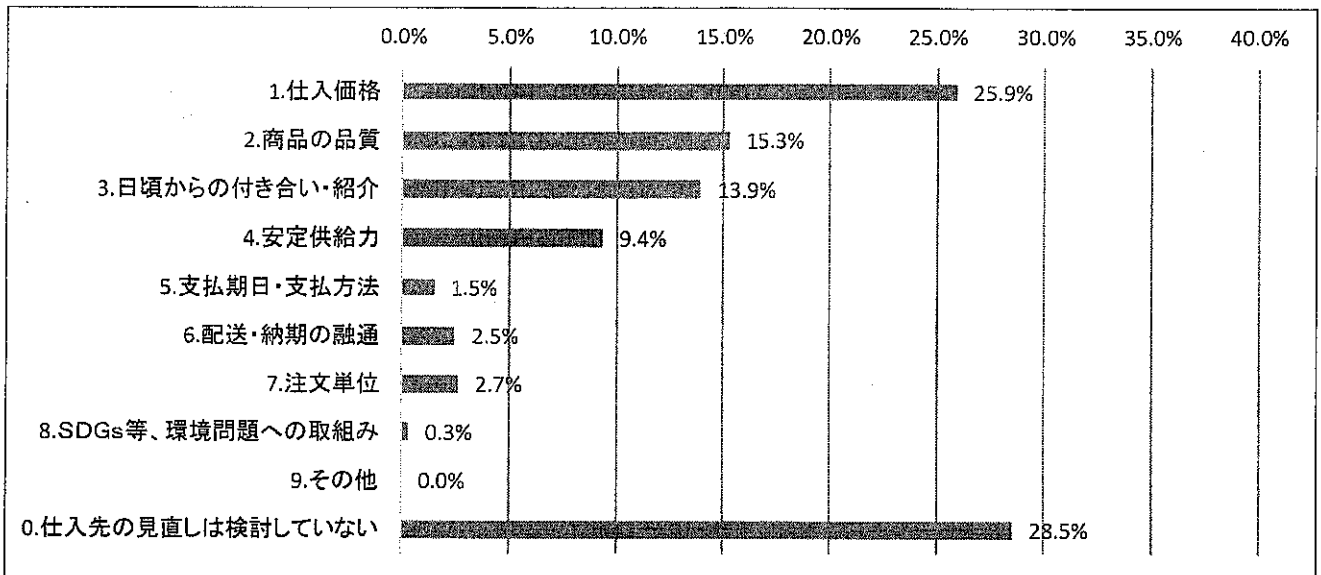
問3. 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。



問4. 原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は現在行っている対策を2～9の中から最大3つまで選んでお答えください。



問5. 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」のまとめ

(景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

1. 原材料・仕入価格の上昇の影響については、「危機的な悪影響がある」、「かなり悪影響がある」、「多少悪影響がある」など一定の悪影響があるとの回答が全体の67.3%となった。
2. 1年前の原材料・仕入価格との比較については、全体の75.3%が上昇したと回答したものの、大半は10%までの上昇にとどまり、10%以上の上昇と回答したのは全体の13.3%にとどまった。
3. 原材料・仕入価格上昇の販売価格への転嫁については、「転嫁できている」、「ほぼ転嫁できている」、「ある程度転嫁できている」、「多少転嫁できている」など一定程度、販売価格に転嫁できているという回答が全体の54.3%となった。
4. 各種資材や製商品の量や質の確保状況について、「必要量・質が確保できている」という回答が25.9%にとどまり、「問題を抱えている」という回答が74.1%であった。問題を抱えているという回答の中で、対策については「特に対応を行っていない」が25.7%と最も多く、続いて「販売先への納期の調整」が13.1%、「仕入れ先の変更・多角化」が11.1%であった。
5. 仕入先の見直し等の検討にあたって、重視する点については、「仕入価格」が25.9%と最も多く、続いて「商品の品質」が15.3%、「日頃からの付き合い・紹介」が13.9%であった。